

2018年7月7日 第45回雲南懇話会

雲南と宋代中国

—南宋時代、横断山脈地帯の茶流通を中心に—

明治大学大学院文学研究科

博士後期課程 森本創

自己紹介

▶ 歴史学研究と嗜好品文化研究

： 歴史学研究として

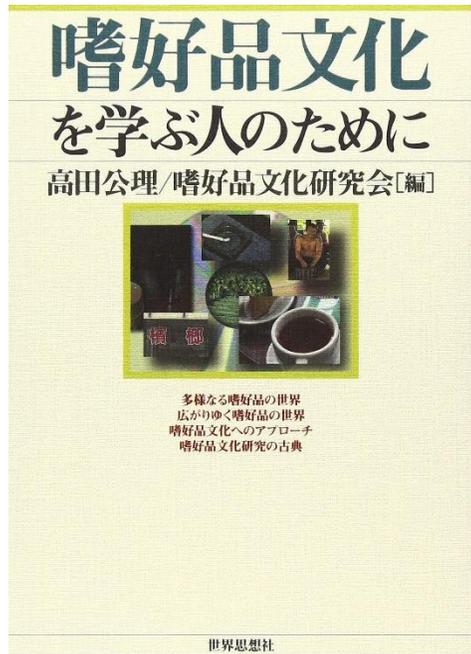
→ 茶馬貿易研究、語学留学の経験

⇒ 学問同士の「対話」の必要性

： 嗜好品文化研究者として

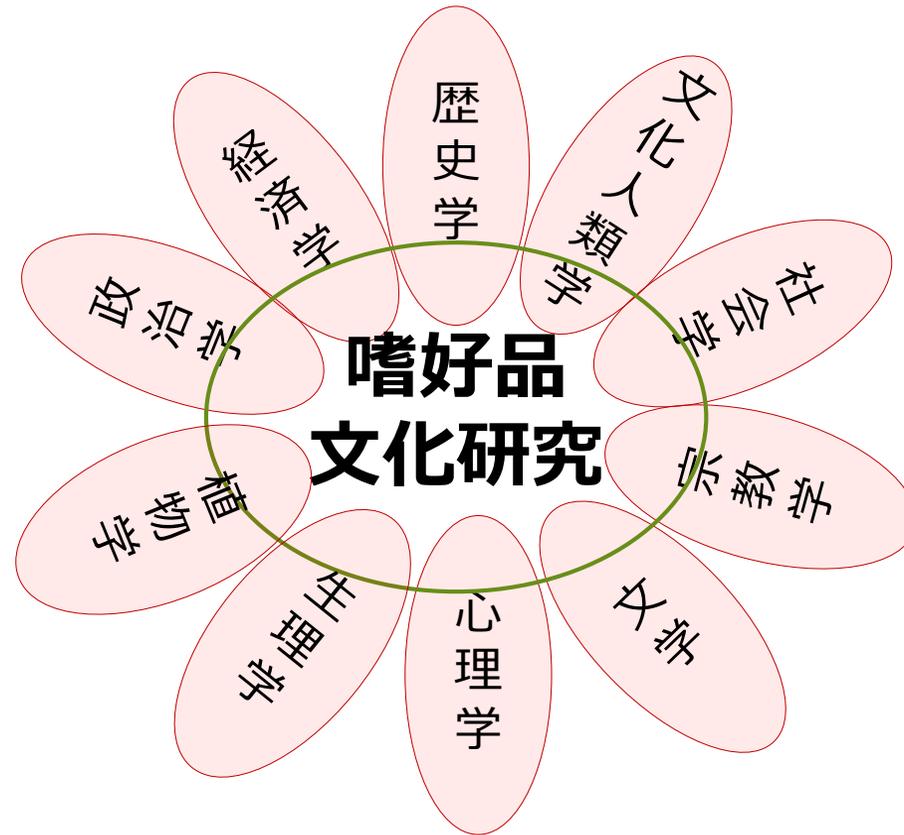
→ 茶が人類文明に与えた影響の解明

⇒ 「ハブ」としての嗜好品文化研究



自己紹介

▶ ハブとしての嗜好品文化研究



[高田・嗜好品文化研究会2008] より作成

自己紹介

▶ 講演の構成と狙い

【立場】 歴史学研究 + 嗜好品文化研究

【狙い】 嗜好品から歴史を理解する試み
多角的な視角から「対話」を目指す

【構成】 レジюме参照

- ・ 本論 / 具体事例から茶が嗜好品化する力学の解明
- ・ 補論 / 嗜好品からみた文明観の試論

1、導論

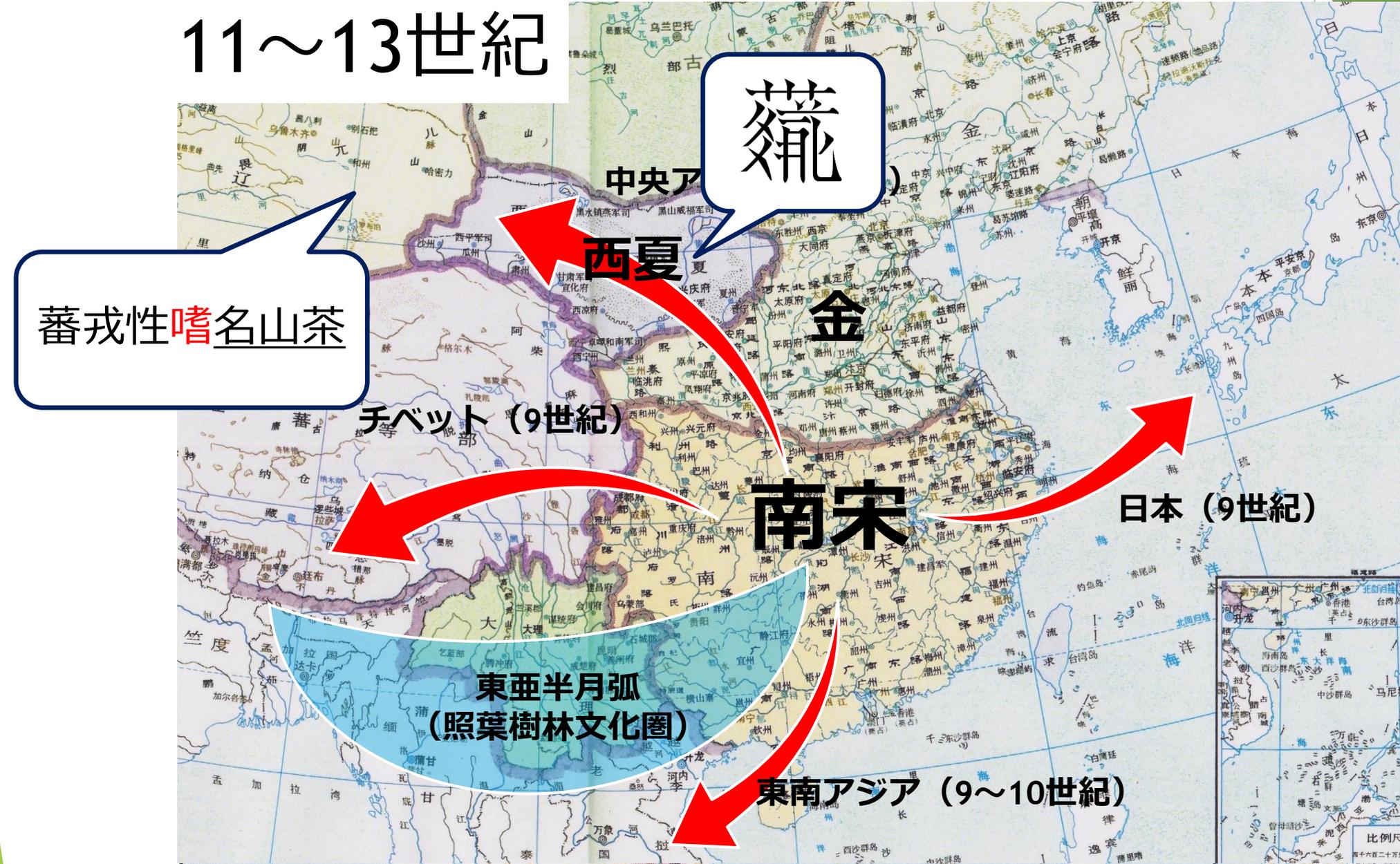
▶ 講演の目的（レジュメ2頁）

「なぜ、雲南は“中国”なのか？」

- 雲南が中国に編入された経緯の闡明
 - ⇒ 元朝による雲南行省の設置（1273年）
 - ⇒ 背景としての南宋時代（1127～1279年）
- 本講演での注目箇所
 - ⇒ 南宋と雲南とを繋ぐ横断山脈に注目
 - ⇒ 茶馬貿易と横断山脈地区の茶流通が鍵

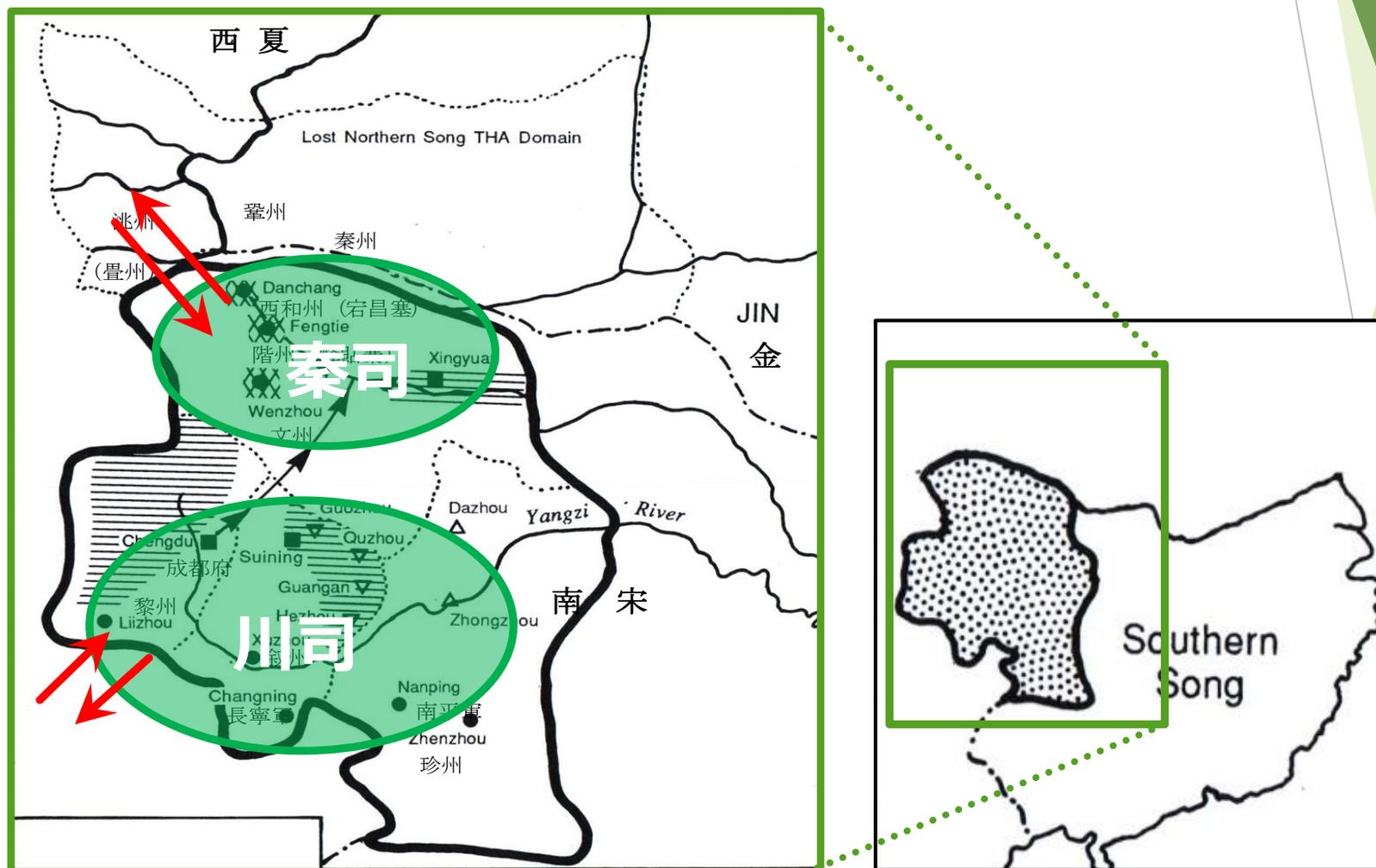
2、横断山脈の世界と茶馬貿易

11~13世紀



2、横断山脈の世界と茶馬貿易

▶ 茶馬司の機構：秦司と川司の買馬場



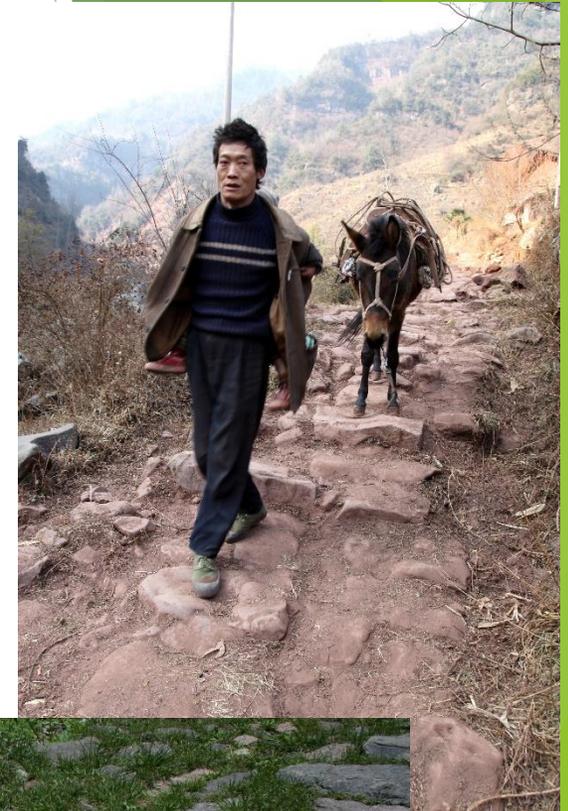
2、横断山脈の世界と茶馬貿易

▶南宋の羈縻政策と輿地図



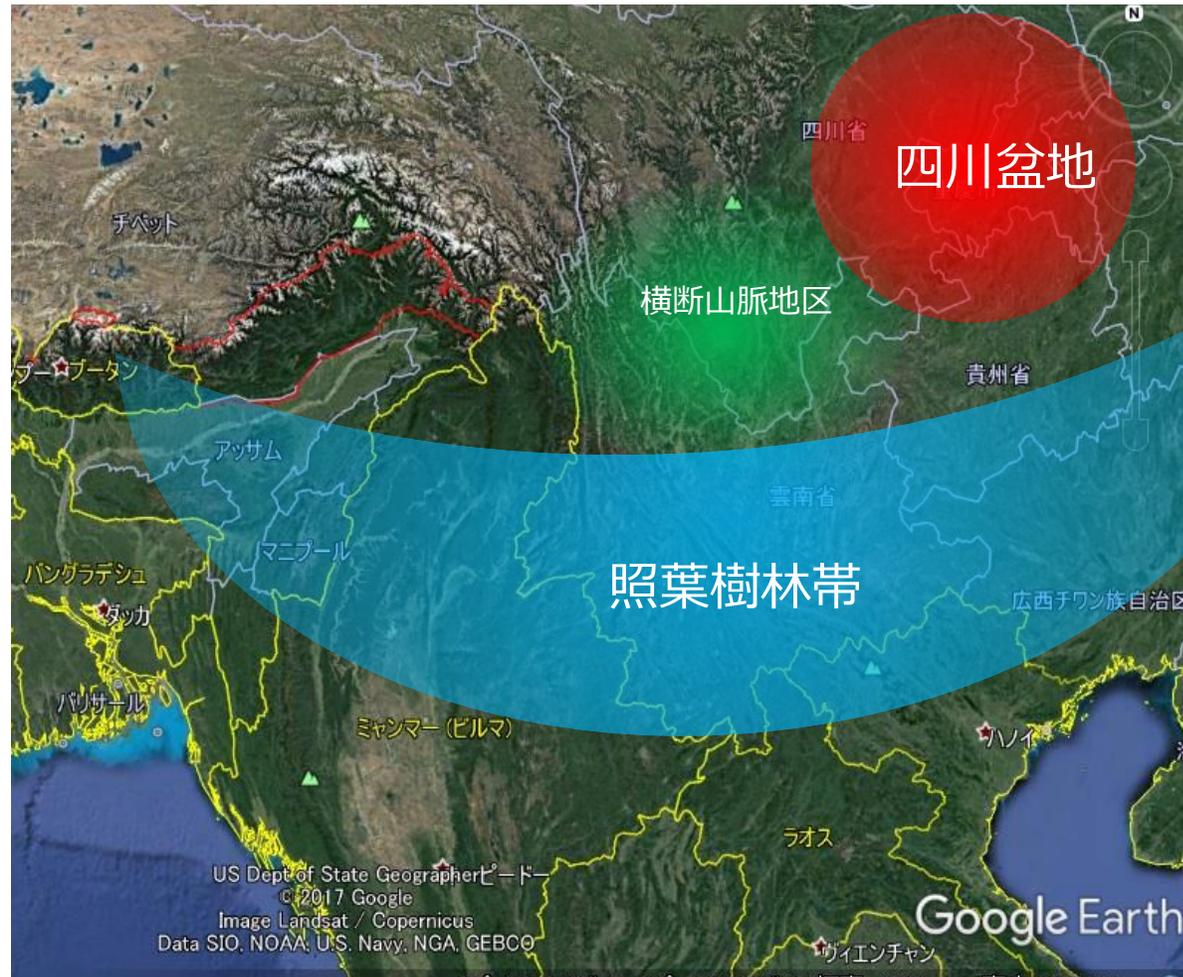
2、横断山脈の世界と茶馬貿易

▶ 2015年四川省漢源県の調査



3、西南中国4つの茶文化圏

▶ 横断山脈をとりまく自然環境



3、西南中国4つの茶文化圏

▶ 横断山脈をとりまく茶文化



蒙頂黄芽

4、モンゴル軍の大理遠征始末

▶ 黎州諸蛮の乱の発生

: レジユメ3頁



4、モンゴル軍の大理遠征始末

異民族／横断山脈地区

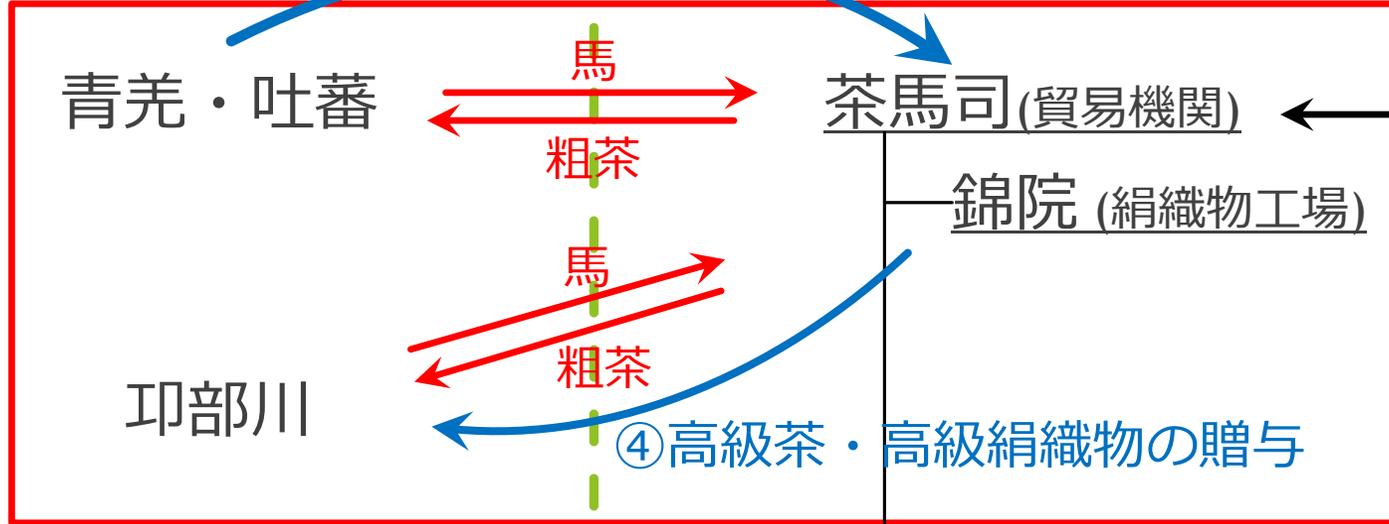
(黎州近郊諸部族)

南宋

(中央政府)

③反乱(四川地方)

茶馬貿易



皇帝

錦院(絹織物工場)

④高級茶・高級絹織物の贈与

茶場(茶畑)

: 蒙頂山(名山茶の茶畑)

: その他茶園(粗茶の茶畑)

①密売茶の流入

②茶苗の流入

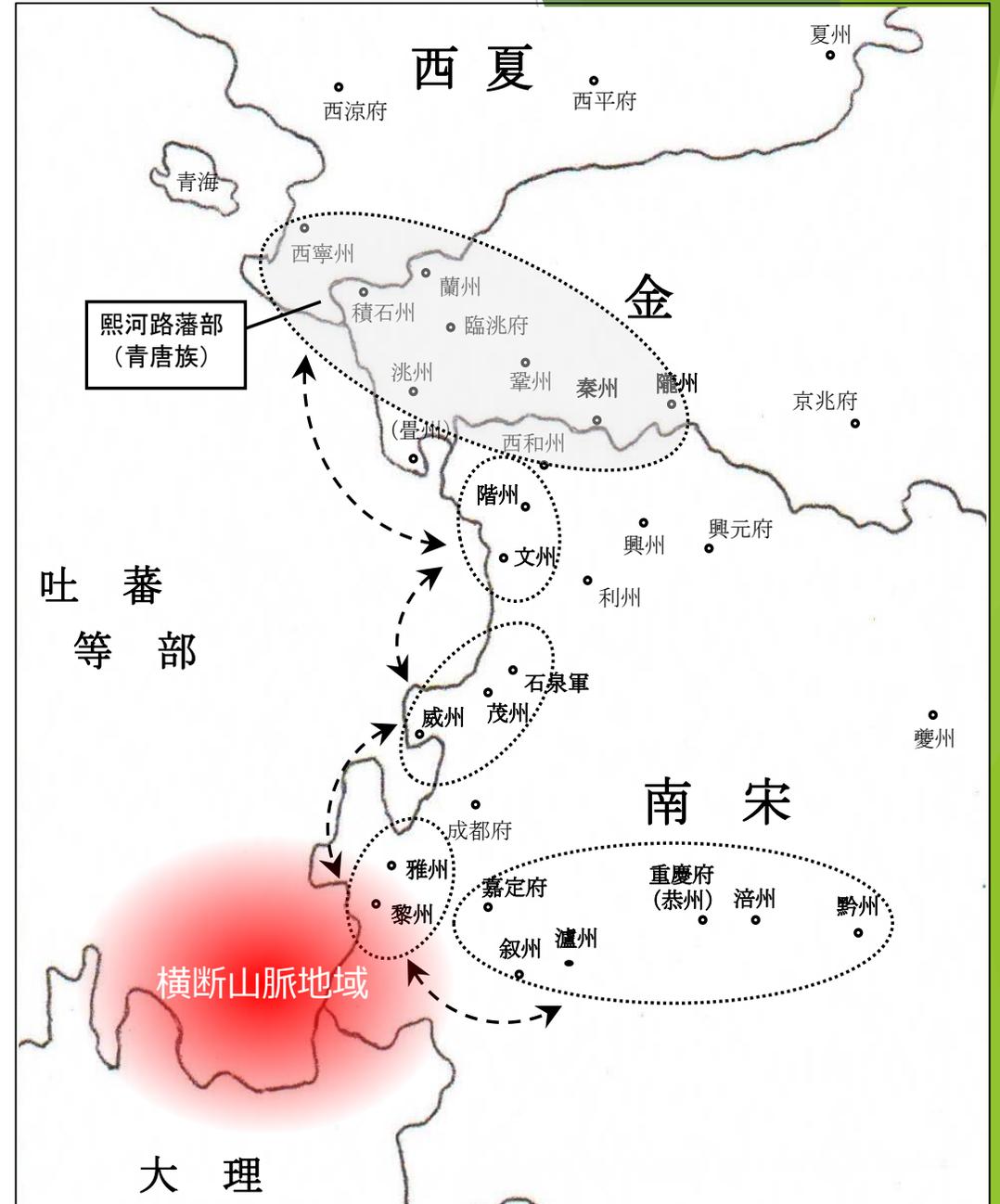
→茶の自生が可能に

→交易茶の価値下落



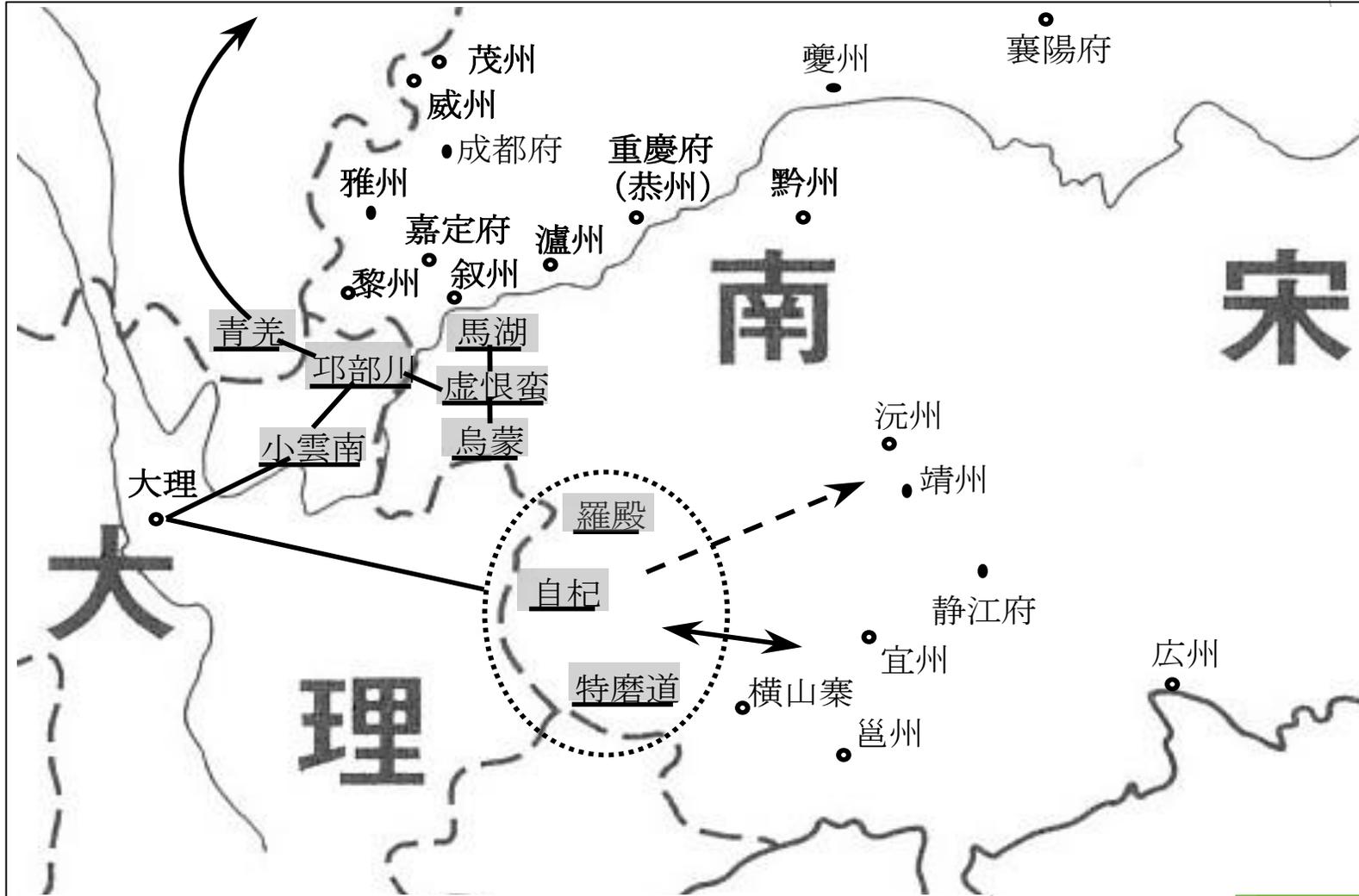
4、モンゴル軍の大理遠征始末

- ▶ 諸部族によるネットワーク
：南宋初期四川官僚の調査



4、モンゴル軍の大理遠征始末

▶ 諸部族によるネットワーク：南宋最末期の調査



4、モンゴル軍の大理遠征始末

▶モンゴル軍の大理遠征（レジユメ4頁）



5、結語～「内外中国」の境界世界～

▶ ○「小中国（China Proper）」から「大中国」への拡大

・ 境界世界が「内中国」と「外中国」との結節点

：東西のハブ／茶馬古道、ジャムチ

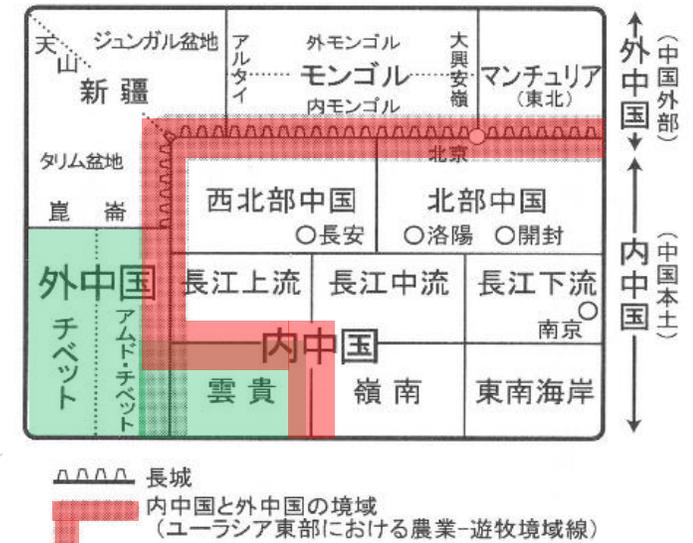
：南北のハブ／東ユーラシアを縦貫する幹線の確立

・ 宋元交替の意義

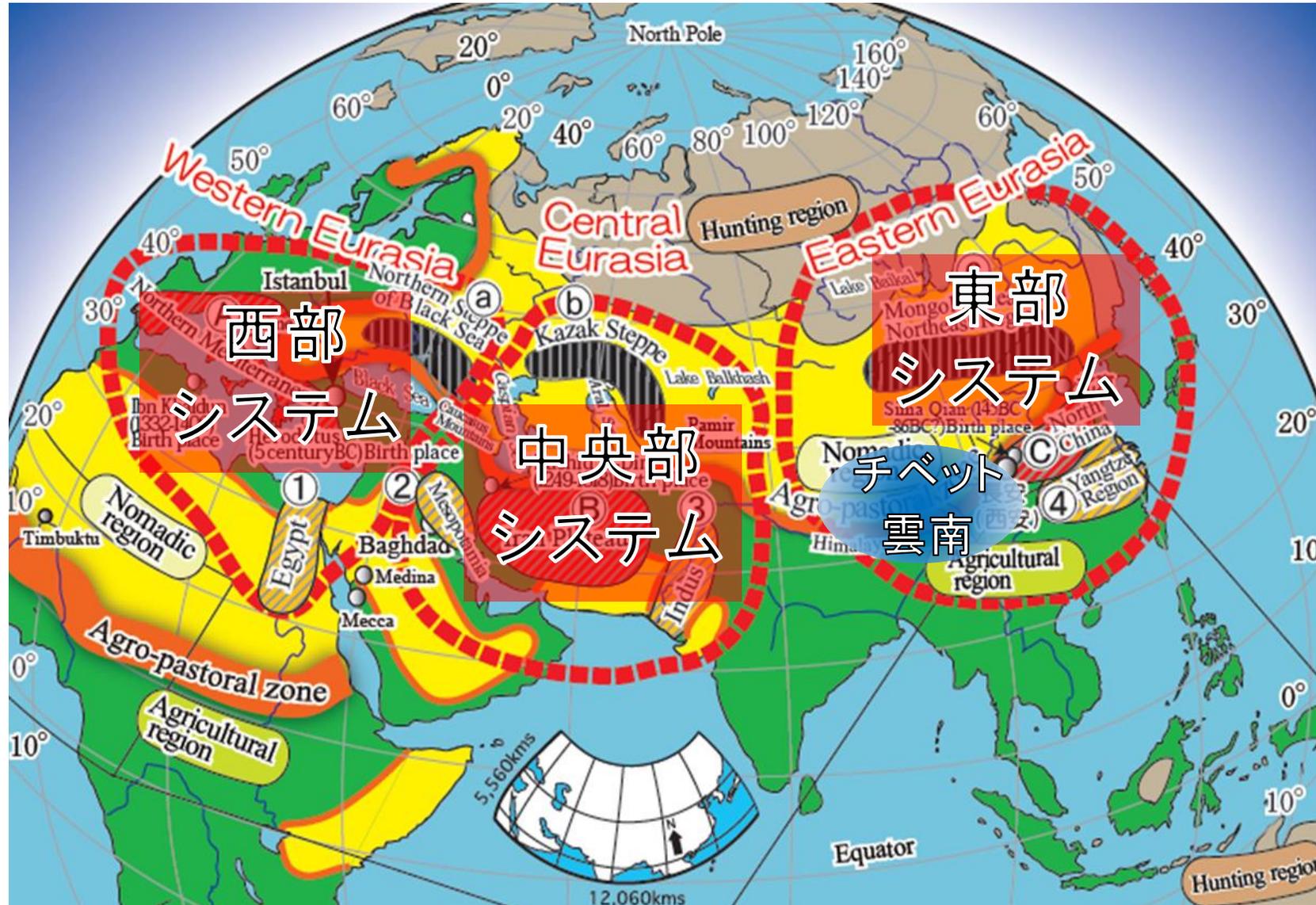
：南宋時代／西南中国への羈縻的支配

：モンゴル時代／初めてチベット・雲南が編入

⇒前近代世界システムの再編／パラダイム・シフト



5、結語～「内外中国」の境界世界～



[妹尾2018] 掲載の図に報告者が加筆

ご清聴ありがとうございました。

